2015年(平成27年)2月24日(火曜日)

室蘭民報

日商簿記1級に合格

難関の日商簿記検定1級に合格した川口さん

室蘭・海星学院高事務員の川口さん

難関突破「仕事に生かします」

室蘭・海星学院高校(香川謙二校長)で事務員として働く川口有理さん(37)がこのほど、第138回日商簿記検定試験で1級を取得した。市内で11人受験し合格者は1人のみ。室蘭では3年ぶりの合格者。川口さんは「4回目で合格できた。身に付けた知識や技術を仕事に生かしたい」と意欲的だ。

川口さんは旭川市出身。室蘭工業大学を卒業後、東京医科歯科大学大学院を修了。東京の情報系企業でシステムエンジニアとして勤務した。その後、室工大准教授の夫と結婚し室蘭に居住。出産を経て、2011年(平成23年)2月から同校で勤務している。

資格取得のきっかけは「再就職の幅を広げるため」。2、3級は独学で勉強。1級は通信講座で合格を目指した。「範囲がとても広く、1科目を覚えたころには前に勉強した科目を忘れる。熟知に時間が掛かった」と振り返る。

公認会計士や税理士など国家試験への登竜門となる簿記検定1級の試験では商業簿記、会計学、工業簿記、原価計算の4科目から出題される。合格すると税理士試験の受験資格を得ることができる。

家庭では、小学5年生と3年生の2児の母。平日は仕事が終わり、家事を済ませてから1日4時間ほど勉強する日々。「自己採点では、ぎりぎりの点数だったので合否通知が来るまでは6月の試験に向けて再び勉強をしていました。『やっと受かった』と安心感でいっぱいです」と笑顔。

室蘭商工会議所によると、全国では18669人が受験し、1724人が合格した。

(石川綾子)